

## EU の乳製品価格は上昇中で、生乳価格が追随するも、生産コスト高は続く

### 欧州委員会「牛乳乳製品市場観測サイト」2023 年 12 月会合報告より

欧州委員会が開設している「牛乳乳製品市場観測サイト(Milk Market Observatory = MMO)」の経済委員会 12 月会合がビデオ会議方式で開かれた。同会合の報告書(\*1)では、EU の牛乳乳製品市場の近況として、①2023 年 1~9 月の生乳生産量は前年同期比 0.5%増加したこと、②10 月の平均生乳取引価格は 1.8%上昇したこと、③乳製品価格は概ね上昇中であること、④小売部門による牛乳乳製品の販売数量が 2023 年に減少してきたことなどを報告している。また、世界の近況として、世界の主要輸出国・地域の生乳生産量は 2023 年 1~9 月に 0.4%増加したことを報告している。EU の生乳価格は、上昇する乳製品価格に追随して上昇しているが、飼料以外の生産コストが依然高く、酪農乳業セクターの利幅を圧迫しているとしている。以下に報告書の要約を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った。)

MMO 経済委員会の第 48 回会合は、2023 年 12 月 5 日に、以下のミルクサプライチェーンを構成する組織の専門家が参加してビデオ会議で開催された。

- COPA-COGECA (欧州農業組織委員会・農業協同組合委員会:生産者を代表)
- EMB(欧州酪農委員会)
- ECVC(ビア・カンペシーナの欧州組織)
- CEJA(欧州青年農業者協議会)
- EDA(欧州乳業協会:乳業者を代表)
- Eucolait (欧州乳製品輸出入・販売業者連合:乳製品貿易を代表)
- Eurocommerce(欧州商工会:小売業を代表)

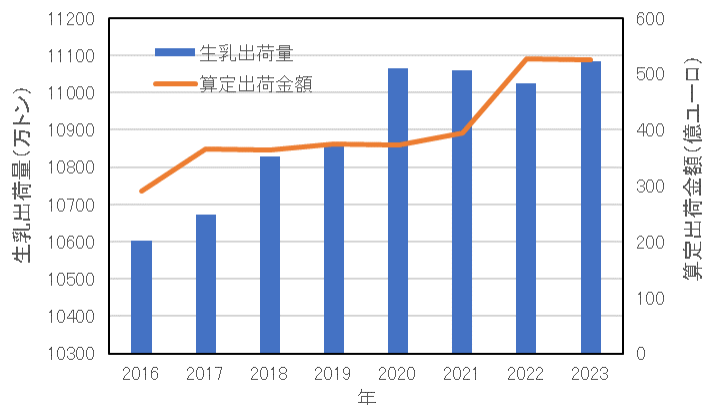
会合でのプレゼンテーションと情報交換では、次の点が強調された。

#### EU の 2023 年 1~9 月の生乳生産量は前年同期比 0.5%増加

前年同月比で 11 ヶ月間増加を続けた EU の牛の生乳出荷量は、8 月(-0.1%)と 9 月(-0.8%)には減少した。2023 年 1 月~9 月では、生乳出荷量は前年同時期を 0.5%上回

った。9 月までに、ドイツ、ベルギー、オランダ、デンマーク、ポーランドを含む 15 か国の EU 加盟国が生乳出荷量の増加を報告した。他の主要生産国のフランス、イタリア、アイルランドでは、出荷量が減少している。2023 年 1 月~9 月の EU の生乳生産の算定出荷金額は、2022 年に比べて 0.26%わずかに減少したものの、2021 年に比べると 33%高かった(図 1)。

図 1: EU の 1~9 月の生乳出荷量と算定出荷金額



ルクセンブルクの数値は非公開のため、含まれていない。

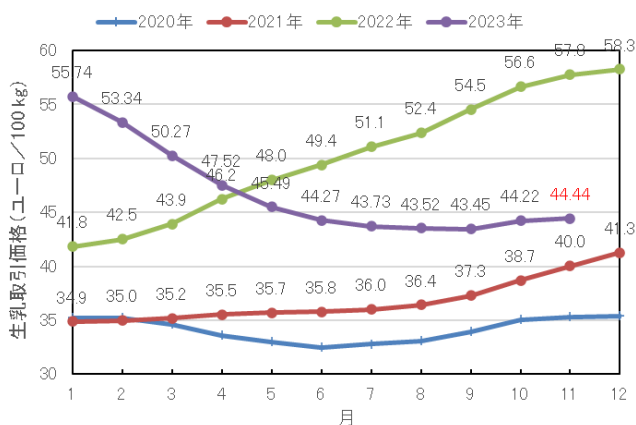
出典: MMO economic board meeting report - 25 September 2023(\*1)を基に Jミルク作成

EU の脱脂粉乳の生産量は 1 月～9 月に 3.5%減少したが、その他の乳製品の生産量は、全粉乳(+3.4%)、バター(+2%)、チーズ(+1.7%)、濃縮乳(+6.2%)、飲用乳(+0.3%)、発酵乳(+1%)、クリーム(+2.8%) のように増加した

### EU の 10 月の生乳取引価格は 1.8%上昇

EU の平均生乳取引価格は 2023 年上半期に大きく下落した後、2023 年 10 月には 1.8% 上昇(9 月比、21 か国の加盟国で上昇)して 1 キロ当たり 44.22 ユーロセントとなり、1 年前より 21.9%低下したものの、この 5 年間の平均を上回った(図2、11 月の推定価格は 10 月からわずかに上昇)。

図2: 生乳取引価格 (EU加盟国平均)



2023 年 11 月は推定価格

出典: EU historical prices. Milk Market Observatory.

2023 年 10 月に集荷された生乳の 4%が有機であった。EU の平均的な有機生乳の価格は 1 キロ当たり 52.3 ユーロセントであった。有機の価格プレミアム(割り増し)は上昇中である。4 か国の加盟国(ドイツ、フランス、デンマーク、オーストリア)が、10 月の EU 域内の全ての有機生乳生産量の 81%を生産した。

飼料コスト(穀物、菜種粕、大豆粕の混合物

に基づく)は、記録的な水準に達した 2022 年 4 月以降ずっと低下を続けており、2021 年 7 月と同様の水準にある。

### EU の平均乳製品価格は概ね上昇中

EU の乳製品平均価格は先月、チェダーチーズとエメンタルチーズを除いて上昇した。5 年間の平均と比較すると、ホエイパウダーのみ価格が下がっている(-3%)。バターと全粉乳はオセアニアが、チェダーと脱脂粉乳は米国が最も価格競争力のある輸出国である。

供給(生産量+輸入量)から需要(国内消費量+輸出量)を差し引いた残余乳製品量に基づく EU 在庫レベルの評価では、脱脂粉乳の在庫量は、秋には高い需要のために減少し、1、2 年前よりもかなり低い水準になった。バターの在庫量は夏休み以降に減少したが、生産量が増加したことにより、最近の数年よりはまだ多い。チーズの在庫量は平年並みとみられる(約 35 万 5000 トン)。

### 世界の主要輸出国・地域の生乳生産量は 2023 年 1～9 月に 0.4%増加

2023 年 1 月～9 月の主要輸出国・地域(オーストラリア、EU、米国、英国、ニュージーランド、アルゼンチン、ウルグアイ)の生乳集荷量は全体で+0.4%増加した。世界の生乳生産量は、ここ数ヶ月減速中である。2023 年 9 月に生産量が増加したのはオーストラリアのみであった(+1.5%)。

2023 年 1 月～9 月の世界の乳製品貿易は、主に全粉乳とホエイパウダーの輸出量減少によって 0.3%減少した。3 大輸出国(EU、ニュージーランド、米国)が、総輸出量の 80%を占めている。一部の南アジア市場は回復の兆しを見せているが、MENA(中東・北アフリカ地域の国々を指す略称: Middle East & North

Africa) 諸国の堅調な需要もアジア全体の輸入減を十分に補っていない。アルジェリアでは脱脂粉乳および全粉乳の需要が旺盛である(それぞれ+19%および+12%増加)。ニュージーランドや米国との競争激化にもかかわらず、EUはアルジェリア向け脱脂粉乳輸出全体の86%の市場シェアがある。EUの輸出は全体的に2022年と比較して好調であるが、第3四半期には若干の減速が見られた。英国、中国、アルジェリア、米国、インドネシア、マレーシア、日本が、2023年1月～9月のEUの輸出先上位7か国であった(シェア47%)。

### 2023年はEUの小売部門による牛乳乳製品の販売数量がこれまで減少

生活費が大幅に上昇したため、消費者はより安価な製品に切り替え、お得なキャンペーンを積極的に探している。プライベートブランドやディスカウントショップが市場シェアを伸ばしている。全般的に、2023年は、小売部門による牛乳乳製品の販売数量がこれまで減少してきた。一部の加盟国では価格の上昇の勢いが弱まり、あるいは下がり始めているようである。

### EUの乳製品価格は上昇中で、生乳価格も追随

欧州委員会が発表した家畜飼料市場の概要によると、EUの穀物生産量は2億6600万トンと予想され、昨シーズン並みであるが、過去5年間平均からすると5.1%下回っている。2023/24年のEUの油糧種子栽培面積は1200万ヘクタール、タンパク質作物(マメ科植物など)は150万ヘクタールとなっている。

ここ数週間、全般的な地合いは改善してきたようであるが、需給面ではまだ不確定要素が多い。EUの乳製品価格は上昇中であり、生乳価格もそれに追随しているが、飼料以外の

生産コストはいまだ高く、このセクターの利幅を圧迫している。

#### 参考資料:

- 1) [https://agriculture.ec.europa.eu/system/files/2023-12/mmo-report-2023-12-5\\_en.pdf](https://agriculture.ec.europa.eu/system/files/2023-12/mmo-report-2023-12-5_en.pdf) MMO economic board meeting report – 5 December 2023. European Commission.

(資料閲覧:2023年12月12日)

(担当:Jミルク 国際グループ 新光一郎)